

# 2017年度 学校法人 三幸学園 大宮ビューティーアート専門学校 自己評価及び学校関係者評価報告書

自己評価報告責任者：教務課長 佐々木 成史

学校関係者評価報告責任者：学校関係者評価委員会委員長 向井 久美子

## 1. 学校の教育目標

学園のビジョン「人を活かし、日本をそして世界を明るく元気にする」、ミッション「人を活かし、困難を希望に変える」のもと、ビューティー分野の学校として「人を美しくすることで人を元気にし、日本を明るく元気にする」というビジョンを掲げている。また「技能と心の調和」を教育理念とし「素直な心、感謝の気持ち、高い意欲を持ち続け、自ら考え、自ら行動することで、社会に貢献する人材」、ビューティー分野として「お客様を美しくすることで感謝される、サロン・組織を活性化できる(皆をハッピーにする)人材を育成する人物像とし、専門学校として社会・業界に求められる人材の育成を進めている。

## 2. 前年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

### ① 前年度重点施策振り返り

#### 【H29年度に定めた課題事項】

- ・教育理念や目指す人物育成像の指導の徹底
- ・退学率減少
- ・教職員の労務管理

#### 《振り返り》

- ・退学率減少、目指す人物像に育成する為、全教職員の研修、情報共有がなされた
- ・教職員の残業の管理強化と業務の精査により労務環境が良くなった

#### 【今後の目標】

- ・教職員の基礎力向上を図る(教務力・業務力)
- ・意識改革(時間管理・挨拶・清掃等基本行動を教職員から見直し学生に還元する)
- ・労務管理の更なる徹底(業務効率化アップ・残業時間の短縮)
- ・退学率 6%

### ② 学校関係者評価委員会コメント

- ・スタプロでは、技能と心の調和の落とし込みができています。(岡部委員)
- ・接客が上手な学生が多い(毛利委員)

### 3.評価項目の達成及び取組状況

#### (1)教育理念・目標

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
学校の理念・目的・育成人材像は定められているか （専門分野の特性が明確になっているか）	4
社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	3
学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが生徒・保護者等に周知されているか	3
各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	3

#### ① 課題

・『教育理念、人材育成像』外部及び学生への浸透(特に人材育成像)並びに、学生の成長

#### ② 今後の改善方策

- ・HPや掲示物、教員によるたび重なる積極的な外部及び学生、保護者への目に留まる掲載と呼びかけ
- ・教職員に統一した考え方をビジュアル化し、ズレが生じない様にする

#### ③ 特記事項

なし

#### ④ 学校関係者評価委員会コメント

- ・サロンワークの授業では、今以上に緊張感を持って行うことで更に真剣さが増し、より本格的なサロンに近づくことによって、お客様もまた来たいという気持ちが芽生えるのではないかと。
- それによって生徒もお客様との信頼関係を築く楽しさが分かりモチベーションアップにも繋がる。(毛利委員)
- ・より実践的な授業を行い体で覚えその中でたくさん失敗をして学んでほしい。(向井委員長)

## (2)学校運営

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
目的等に沿った運営方針が策定されているか	4
事業計画に沿った運営方針が策定されているか	3
運営組織や意志決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	3
人事、給与に関する制度は整備されているか	4
教務・財務等の組織整備など意識決定システムは整備されているか	3
業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	3
教育活動に関する情報公開が適切になされているか	3
情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3

### ① 課題

- ・教職員の労務管理
- ・教育の情報公開が少ない

### ② 今後の改善方策

- ・コンプライアンス遵守体制の確保
- ・労務管理体制の徹底

### ③ 特記事項

なし

### ④ 学校関係者評価委員コメント

- ・業界全体的に、以前より労務の改善がされている。生徒に一番身近な社会人は教員。その教員がイキイキと働く姿を見てほしい。（田村）

### (3)教育活動

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4
教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4
学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4
キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	3
関連分野の企業・関係施設等、業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	3
関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか	4
授業評価の実施・評価体制はあるか	4
職業に関する外部関係者からの評価を取り入れているか	3
成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	4
資格取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4
人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	3
関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務含め)の提供先を確保するなどマネジメントが行われているか	3
関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	3
職員の能力開発のための研修等が行われているか	4

#### ① 課題

・地域貢献でき、且つ学生の学びとなる産学連携の場がもっと必要。特に福祉に関わる内容

#### ② 今後の改善方策

・現在埼玉県やさいたま市、近隣企業に声がけをしているが、量と質で精査する必要がある

#### ③ 特記事項

なし

#### ④ 学校関係者評価委員コメント

・卒業後、学校と現場のギャップが出てくる。就職後のためにクレーム対応の仕方を授業で学ぶ機会を作るなどした工夫が必要。(毛利委員)

・サロンワークの授業は楽しく、値段が安いし学生サロンなのでお客様のこだわりはない。しかし実際の現場はそうはいかないので、ギャップが生じる。楽しいだけではなく、お客様からのフィードバックをしっかりと行ったらどうか(岡部委員)

#### (4)学修成果

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
就職率の向上が図られているか	3
資格取得率の向上が図られているか	3
退学率の低減が図られているか	3
卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3
卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	3

##### ① 課題

- ・退学を決める前の指導が属人化されがちで、担任のスキルが左右する
- ・卒業生の近況を把握しきれない

##### ② 今後の改善方策

- ・教職員への教務力、就職指導力アップを図る実務研修の実施
- ・同窓会リンクの周知徹底

##### ③ 特記事項

なし

##### ④ 学校関係者評価委員コメント

- ・言葉遣い等在学中と社会とのギャップがあるため、よりリアルで実践的な授業が必要。（岡部委員）  
（例 学校ではごみが落ちていても拾わない。社会ではサロン内ではごみを拾わなければ怒られる）

## (5) 学生支援

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
進路・就職に関する支援体制は整備されているか	3
学生相談に関する体制は整備されているか	4
学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	3
学生の健康管理を担う組織体制はあるか	3
課外活動に対する支援体制は整備されているか	3
学生の生活環境への支援は行われているか	3
保護者と適切に連携しているか	4
卒業生への支援体制はあるか	4
社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	3
高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	3
進路・就職に関する支援体制は整備されているか	3

### ① 課題

- ・就職支援が担任が中心となり属人化しがちである
- ・卒業生へのサポート

### ② 今後の改善方策

- ・就職指導のレベルアップと、在校生への影響力の強い卒業生とのつながりを強化する

### ③ 特記事項

なし

### ④ 学校関係者評価委員コメント

- ・保護者向けの就職についての説明会やネイル、メイク、スキンケアの教室を行い、保護者にも業界の魅力を感じてもらい、就活サポートに繋げてはどうか。（向井委員・毛利委員）

## (6)教育環境

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4
学内外の実習施設,インターンシップ,海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	3
防災に対する体制は整備されているか	3

### ① 課題

- ・実習先の確保方法や受け入れ企業がリニューアルされていない
- ・学生への指導(社会人の心構えや生活指導のレベル)が属人化されがち

### ② 今後の改善方策

- ・企業側の実習受け入れ態勢が、昨今の人材不足で状況に変化が起きているので、ヒアリング徹底
- ・教職員の体系変更、研修実施

### ③ 特記事項

なし

### ④ 学校関係者評価委員コメント

- ・インターン中、お客様に直接施術ができないため、期間を検討した方が良いのではないか。(岡部委員)

## (7)学生の受入れ募集

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
学生募集活動は、適正に行われているか	4
学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	3
学納金は妥当なものとなっているか	3

### ① 課題

- ・平日の実際の授業を見せる機会が提供できていない
- ・「技能と心の調和」の心の教育の大切さを伝え、見せる場が少ない

### ② 今後の改善方策

- ・学校見学会、放課後の高校生と保護者向けイベントを増加または日程検討

### ③ 特記事項

なし

### ④ 学校関係者評価委員コメント

なし



## (8)財務

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4
予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4
財務について会計監査が適正に行われているか	4
財務情報公開の体制整備はできているか	4

### ① 課題

#### 【中長期計画】

なし

#### 【予算・収支計画】

なし

#### 【会計監査】

なし

#### 【財務情報の公開】

なし

### ② 今後の改善方法

#### 【中期計画】

昨年度に第2次中期計画を策定している。今後は当該計画の公開に向けて着手していく予定である。

#### 【財務情報の公開】

なし

### ③ 特記事項

なし

#### 【委員コメント】

・特になし

## (9)法令等の遵守

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4
個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	3
自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	3
自己評価結果を公開しているか	3

### ① 課題

- ・自己評価にもとづいた問題点の改善を徹底できていない

### ② 今後の改善方策

- ・継続的实施
- ・問題点の明確な洗い出しと迅速な改善策の実践

### ③ 特記事項

なし

### ④ 学校関係者評価委員コメント

なし

## (10)社会貢献・地域貢献

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	3
生徒のボランティア活動を奨励、支援しているか	4
地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	3

### ① 課題

地域貢献・社会貢献に関する活動をする機会が少ない。

### ② 今後の改善方策

- ・地域住民をお招きしてのサロン開催日を増やす
- ・学生に学び、成長のあるボランティア活動の増加
- ・地域の方向けの講座を検討

### ③ 特記事項

なし

### ④ 学校関係者評価委員コメント

- ・保護者、地域向け講座の開催をし、学校教育の理解を深めて頂く。SNSやポスティングなど工夫し周知活動を行った方が良い。（向井委員）
- ・老人ホームなどへの訪問をすると喜ばれるのではないか（毛利委員）

### (11)国際交流(必要に応じて)

【評価項目】(評価=適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1)	評価
留学生の受入れ・派遣について戦略を持って国際交流を行っているか	
受入れ・派遣、在席管理等において適切な手続き等がとられているか	
学習成果が国内外で評価される取組を行っているか	
学内で適切な体制が整備されているか	

#### ① 課題

・業界的に就労ビザがおりない

#### ② 今後の改善方策

・留学生に就職が難しいことを説明した上で、それでも学びたい場合受け入れていく

#### ③ 特記事項

なし

#### ④ 学校関係者評価委員会コメント

なし

## 4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

### ■学校運営について

労務の改善がなされているが、益々の効率化を図ってほしい

### ■教育について

学校生活と社会とのギャップがあるため、実践できるサロンワークの授業内容の強化を図ってほしい。  
現場では授業内のサロンワークより質の高い接客スキルと技術が求められるため、クレーム対応のロープレ等を行っていくとよい。

### ■その他

保護者向けのメイク講座、老人ホームでのボランティア活動など地域の方が喜ぶ活動を行ってほしい。  
どうか。活動を通してお客様に感謝される喜びを感じたり、学校の認知に繋がってほしい。

以上